資料3　　参考事例の課題整理総括表

利用者名　○○ △△　　作成日　平成28年 / 4月 / ○日

自立した日常生活の阻害要因（心身の状態、環境等）			
	① 左半身不全片麻痺	② 腰痛（圧迫骨折の既往）	③高次脳障害 失認・失行・注意障害
	④ 口腔器機能障害	⑤ 動作・行為方法の未修得	⑥自宅・店舗環境

利用者及び家族の生活に対する意向	
	本人：歩けるようになって、トイレや入浴は自分で行いたい。家事を担いたい。夫を助けて酒屋の仕事を手伝いたい。 夫：焦らず穏やかに過ごしてほしい。転ばず健康に過ごして欲しい。

状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考（状況・支援内容等）
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介	①・③・⑥	改善 維持 悪化	4点杖 見守り・軽介助
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介	①・②・③	改善 維持 悪化	便宜上車椅子 平地自操可能
食事	食事内容	支障なし 支障あり	④	改善 維持 悪化	軟食・むせやすい
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介	①・④	改善 維持 悪化	左手は補助的にも使いにくい
	調理	自立 見守り 一部介助 全介	①・③・⑥	改善 維持 悪化	立位不安定・片手作業・調理用具工夫
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり	便秘	改善 維持 悪化	下剤使用時に失敗あり
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤・⑥	改善 維持 悪化	ベットや居間から移動見守り。方向転換不安。早めにトイレへ行くように
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり	①・④	改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介	①・③	改善 維持 悪化	口腔周囲しびれ 不全感
服薬		自立 見守り 一部介助 全介	③	改善 維持 悪化	粒薬が飲みにくい うっかり飲み忘れ
入浴		自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤・⑥	改善 維持 悪化	半埋め込み・手すり、座椅子必要か
更衣		自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤	改善 維持 悪化	衣類を工夫 ズボン・靴下・装具介助
掃除		自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤・⑥	改善 維持 悪化	掃除機が重い・床動作はまだできない
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤・⑥	改善 維持 悪化	乾いたものをたたむことは出来る
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介	①・③・⑥	改善 維持 悪化	片手動作不安定 立位不全
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介	③	改善 維持 悪化	以前は家計・帳簿は本人管理
買物		自立 見守り 一部介助 全介	①・⑤・⑥	改善 維持 悪化	買い物は楽しみ 歩いて回りたいが
コミュニケーション能		支障なし 支障あり	③・④	改善 維持 悪化	ことばが出にくい 時々抑うつ
認知		支障なし 支障あり	③	改善 維持 悪化	HDS-R26点 高次脳機能障害
社会との関わり		支障なし 支障あり	③・④・⑥	改善 維持 悪化	商店会の付き合い・孫との交流楽しみ
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり	白癬	改善 維持 悪化	白癬治療塗り薬
行動・心理症状(BPS		支障なし 支障あり	③不注意	改善 維持 悪化	焦ってしまう。安全確認が不十分
介護力（家族関係含む		支障なし 支障あり	夫店の仕事	改善 維持 悪化	夫が家事・本人見守り支援・商売と大変
居住環境		支障なし 支障あり	⑥	改善 維持 悪化	店舗併用住宅 居室1階
酒屋の仕事		支障なし 支障あり	⑥	改善 維持 悪化	本人はぜひ店の仕事に立ちたい

見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）【案】	※6
＊まだ発症後 亜急性期にあり、麻痺の改善が期待できる。 ＊屋内は杖や手すりで歩ける。屋外はウオーカーが使えるようになるか？ ＊上肢帯の機能改善の可能性はある と 病院OT ＊トイレ行為は当面見守りが必要だが自立へ向かう ＊下剤を使わずに済むようにしたい ＊ 口腔機能向上の手立てで改善できそう。 ＊ 通院や適切な薬の服用は重要 ＊入浴は当面通所事業所で入浴関連の行為移動・移乗・更衣・洗体・洗髪の練習をして自立へ向かう ＊本人は 掃除・洗濯・調理・後片付け等の家事を行いたい が 現状では転倒やけが等のリスクが高い。 ＊家事行為の向上には練習や環境の工夫をしていく。 ＊夫とともに買い物に行きたい。夫の自家用車に乗り スーパーで当面車椅子。 ＊もともと人との交流が好きで酒屋の仕事や商店会の活動に生きがいを感じていた。そういう交流のある生活をしていきたい。 ＊娘や孫たちにも応援してもらい酒屋の仕事を	自宅内は安全に歩き トイレで排泄したい。	1
	入院せず 健康に過ごしていきたい。	2
	夫に負担や心配をかけず 家事も少づつ出来るようになりたい。	3
	人と交流して 生きがいを持って過ごしていきたい。家族と旅行が出来るくらいになりたい。	4

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
※2 介護支援専門員が収集したた客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号（丸数字）を記入する（複数の番号を記入可）。
※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況（目標）を記載する。
※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「－」印を記入。